

ピアノ誕生300年

指導者・演奏者のための

ピアノ発達史年表 後編

ロマン派からピアノ完成の時代まで

文・監修 岳本恭治

簡略版

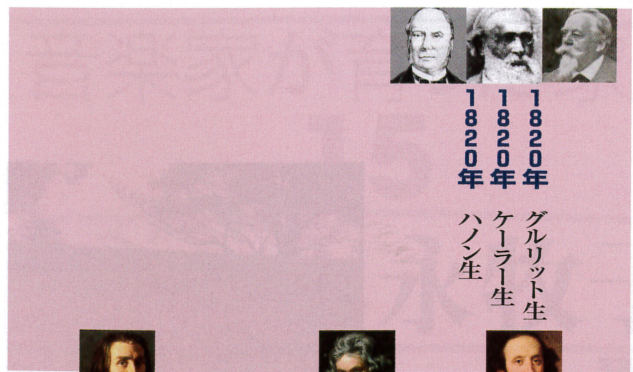
※注：作品によっては、作曲年代において複数の説が存在するものもあります。

ロマン派ピアノの時代（1820年ごろ～1850年ごろ）

- 1820年 **ブロードウッド**がメンデルスゾーン使用のピアノを製作。(F1-E4 6オクターブ。バス弦用ハンマーはフェルト、高音弦用ハンマーは革張り。※ブロードウッドについては、1月号参照)
- 1821年 **エラール**（フランス）がダブル・エスケープメント・アクションの特許を取得。このころからピアノ工業に革新が次々と起こる。※エラールについては1月号参照
- 1823年～1825年ごろ **グラーフ**（オーストリア）がベートーヴェン使用のピアノを製作。(C1-E4, 6オクターブと4度)
- コンラート・グラーフ**は耳の不自由な**ベートーヴェン**のために、通常最大でも1音に対して3本張弦するところ、C1-C#3本弦、D-E4 4本弦として音量の増大を試みる（実はそれほど効果的ではなかった。また、内部に薄い共鳴用の板で覆う集音装置を搭載し、音を聴こえやすくした。鉄を一切使わない木のフレームを採用。)
- 1824年 **リスト**がパリ・デビューで**エラール**のピアノを使用（7オクターブ、ダブル・エスケープメント・アクション）。
- 1825年 **バブコック**（アメリカ）が鉄骨の一体構造フレーム（現代のピアノ同様に開発し、特許を取る）。



1820年 グルリット生
1820年 ケーラー生
1820年 ハン生



◆グラーフがベートーヴェンのために製作した特殊設計のピアノ。属啓成著『ピアノの歴史』（音楽之友社）より



1827年 ベートーヴェン没



1828年 シューベルト没



1830年 ランゲン



1833年 ブラームス生



1838年 シューマン《子供の情景》《クライスレリアーナ》

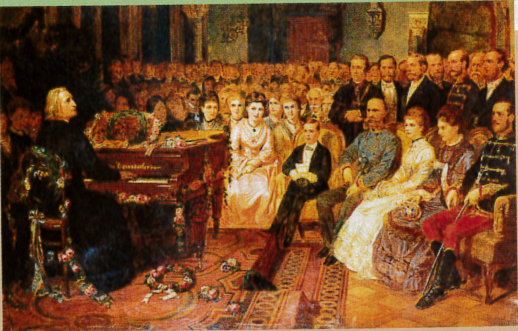
●1839年 **コンラート・グラーフ**が**クララ・シューマン**使用のピアノを製作（C1-E4 6オクターブと5度。シューマンとクララの結婚祝いとして、1840年に贈呈される。製作（C1-E4 6オクターブと5度。イギリス式シングルアクション、2本ペダル）。シューマンは1832年、パリのデビュー・リサイタルをサル（ホール）・プレイエルで行って以降、何台かのプレイエルを使用していたが、このピアノが最後となる。「銀色のように美しく、いくらかヴェールがかかった響き、とても弾きやすい軽快なタッチ」と、もともと気に入っていたピアノ。シューマンは「体調の良いときは、プレイエルで徹底的に音質・音色作りをする。プレイエルに比べて強い音質のエラールは、体調の悪さを補うときに適している」と言っている。

●**プレイエル**創業は1807年。創業者イグナースはハイデルン門下の音楽家。シューマン時代の2代目社長カミーユはデュセック門下のピアノニストという芸術一家。ライバルのエラールは工芸系一家。シューマンはこの対照的なフランスを代表する2つのピアノメーカーの楽器を所有・愛用。特にプレイエルはシューマンの行くあらゆる場所に提供され、マジヨルカ島で療養中にも、アップライトピアノを使用していた。※エラールについては1月号参照

●1839年 ショパン《ソナタ 第2番》

●1843年～1844年 **メンデルスゾーン**《春の歌》

●現代ピアノの時代（1850年ごろ～1900年ごろ）



◆オーストリアのフランツ・ヨーゼフ皇帝の前でベーゼンドルファーを演奏するリスト

◆プレイエル（1830年ごろパリ）78鍵/C1-E4



写真提供 浜松市楽器博物館



1840年 チャイコフスキ生
1843年 グリゲ生
1847年 メンデルスゾーン没
1849年 ショパン没

●1840年 チャイコフスキ生
●1843年 グリゲ生
●1847年 メンデルスゾーン没
●1849年 ショパン没

子どもの知的興味をくすぐる「伝記まんが」

写真のような「伝記まんが」がレッスン室のテーブルの上に置いてあったら、思わず手にとってしまう生徒さんがたくさんいるのでは？ でも……「まんが」は勉強の敵？
いえいえ、レッスンのお助けツールになってくれる充実の中身です！

学研 音楽まんがシリーズ

①の『伝記 世界の大作作曲家』は、バッハからバルトークまで、教科書でも馴染みの作曲家15人の「伝記まんが」がおさめられた1冊。付属のCDで15人の作品を聴くこともできます。右の3冊は、タイトルにある作曲家の子ども時代のエピソードや名曲誕生秘話などが「まんが」で紹介されています。さらに「しりょうのページ」「まめちしき」「年表」と情報も盛りだくさん！





<p>1</p>  <p>伝記 世界の大作作曲家 -15人の偉人伝- CD付き 監修：ひの まどか 漫画：伊藤良子/江田二三夫/堀江卓/山口太一 定価：1,600円+税</p>	<p>2</p>  <p>モーツァルト 監修：ひの まどか 漫画：江田二三夫 定価：900円+税</p>	<p>3</p>  <p>ベートーベン 監修：武川寛海 漫画：よこた とくお 定価：900円+税</p>	<p>4</p>  <p>シューベルト 監修：高木東六 漫画：よこた とくお 定価：900円+税</p>
--	--	--	---

小学館版 学習まんが人物館 <第一期><第二期>より

表紙をめくると、各作曲家にゆかりの場所や出来事が記された見開きの地図が、裏表紙をめくると、各作曲家が残したことが現れます。巻末の「学習資料館」にも、「学習人物ガイド」「年表」等々、興味深い読み物がいっぱい。メインの「伝記まんが」には、鮮やかなカラーページも含まれていて、豪華です！

<p>5</p>  <p>モーツァルト (第一期) 解説：三枝成影 漫画：市川のり シナリオ：鈴木悦夫 定価：850円+税</p>	<p>6</p>  <p>ベートーベン (第二期) 監修：黒田恭一 漫画：いちかわのり シナリオ：早野美智代 定価：850円+税</p>	<p>7</p>  <p>ショパン (第二期) 監修：小坂裕子 漫画：市川能里 シナリオ：黒沢哲哉 定価：900円+税</p>
---	--	--

※①～⑦を各1名様にプレゼントします。応募方法は、「News & Events」ページ「プレゼント」欄をご覧ください。

 1886年 リスト没	 1873年 ラフマニアフ生 1874年 ブルクミュラー没 1875年 ラヴェル生	 1862年 ドビュッシー生 1863年 バイエル没	 1856年 シューマン没 1857年 チェルニー没
--	--	---	---

●1851年 リスト バガニーニによる大練習曲第3番(ラ・カンパネラ) (現在主に弾かれるバージョン)
リストは、**エラー**のダブル・エスケープメント・アクション (鍵盤を元に戻さずに途中から連打が急速に、かつppで打鍵できる、現代のグランドピアノに搭載されている機能) を効果的に使用できるように、1851年に前作(1838年)を改作した。

●1853年 **スタインウェイ&サンズ**がニューヨークで、**ベヒシュタイン**がベルリンで、**ブリュートナー**がライプツィヒでいっせいに創業という、ピアノ業界奇跡の年。

●**スタインウェイ&サンズ** 1857年から1972年ころまでに110以上の特許を取得するほど、機能開発に貢献。「雷鳴からナイチンゲール(鳥)の歌声まで」と称され、豊かな音量と音色による幅広い表現が可能。(リストは晩年、1882年製のコンサート・グランドピアノを所有(現存 A2-24、7オクターブ)。

●**ベヒシュタイン** 音の乱反射を防ぐ「響板」が特徴。低音部はウェルベツト、高音部は天使の歌声と称され、音の立ち上がりの良さが評価されている。**ドビュッシー**が愛用。**リスト**は晩年、1880年ころに製作されたコンサート・グランドピアノを所有(現存 A2-05、88鍵)。

●**ブリュートナー** 通常最高音部は3本張弦されるが、もう1本ハンマーが打たない弦が張られている。打弦された3本の基本弦が減衰していくとき、振動を持続させるために有効(以前は中音部から最高音部まで4本弦)。あくまでも大きな音量よりも、澄んだ美しい音の追及がコンセプト。**シヨスタコーヴィチ**が愛用。

●1862年 モンタール(パリ)がソステヌートペダルを発明(グランドピアノの中央ペダル)。

●1872年 1868年に製作された**ヨハン・バプティスト・シュトライヒャー**(息子)のピアノが**ブラームス**に贈られる。

●**シュトライヒャー** ヨハン・バプティストの父ヨハン・アンドレアスと母ナネット(大ピアノ製作者シュタインの娘は、ともにウィーンの名ピアノ製作者で、**ベートーヴェン**とも親交があった。また、**シューベルト**も彼らの製作したピアノを愛用(所有はしていない)。ピロッドのような音色。明瞭で切れがよく透明な音質、強音と弱音とは、音色がかなり変化し、**ブラームス**の対位的な技法にもついでこのピアノ。第2次世界大戦で破壊された。シュトライヒャーのピアノは、クラブ・シューマンが12歳のとき、83歳のゲーテの前で演奏したピアノとしても知られている。

●1897年 ヤマハ(日本楽器製造株式会社)設立、1927年 カワイ(河合楽器研究所)設立。

 <p>◆シュトライヒャー(シューベルト博物館) 属啓成著『ピアノの歴史』 (音楽之友社)より</p>	 <p>◆ベヒシュタイン(リスト博物館) 属啓成著『ピアノの歴史』 (音楽之友社)より</p>	 <p>◆コンラート・グラーフ (シューマン夫妻に贈られたピアノ) 属啓成著『ピアノの歴史』 (音楽之友社)より</p>
--	--	---